

令和2年度(2020年度)

管理事業名	上の川周辺整備事業			総合計画の体系	大綱 6 政策 1 施策 1	都市形成 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 土地利用誘導と良好な景観形成
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 15 上の川周辺整備費
部局名	都市計画部	予算執行所属	計画調整室			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
上の川周辺整備事業						

事業の目的と概要
【目的】
 阪急電鉄豊津駅から関大前駅へ向かう、府道吹田箕面線における特に狭小な300m区間に、安心安全な歩行空間及び、みどりのネットワーク軸を延伸します。
 また、歩行者ネットワークの拡大により、ウォーキングや健康遊具等の利用で、市民の健康寿命の延伸が図れるほか、吹田市と「災害に強いまちづくり連携協定」を締結している関西大学との連携を強化し、地域防災力の向上を図ることで、市民のいのちを守り、安心安全な暮らしを向上します。
【概要】
 暗渠化する上の川の上部空間には、安心・安全なみどり等を整備した高質な歩行空間等を整備します。
 災害活動等で使う大型車を関西大学へアクセスできる道路に改良(橋梁拡幅・踏切拡幅)し、多機能な防災拠点として活用が可能となるようにします。

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
整備事業の進捗率	%	0.0	0.0	2.3	執行事業費累計/総事業費
整備する道路への車両誘導率	%	0.0	0.0	0.0	整備した道路に変更する車両台数/事業開始前に抜け道を利用する車両台数
成果の説明	暗渠化する上の川の上部空間等に、高質な歩行空間整備と交差点改良の設計を実施しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
経常収入				
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	23,700	23,700
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	23,700	23,700
経常費用				
給与関係費	-	-	29,890	29,890
物件費	-	-	97	97
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	15,764	15,764
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
費用				
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	2,629	2,629
退職手当引当金繰入額	-	-	26,066	26,066
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	74,446	74,446
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△50,746	△50,746
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△50,746	△50,746
一般財源充当額	-	-	33,540	33,540
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	△17,206	△17,206

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等	上の川遊歩道基盤整備(大阪府が実施)の設計費用負担 15,764千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	23,700	23,700
行政サービス活動支出	-	-	48,087	48,087
行政サービス活動収支差額	-	-	△24,387	△24,387
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	16,053	16,053
投資活動収支差額	-	-	△16,053	△16,053
財務活動収入	-	-	6,900	6,900
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	6,900	6,900
収支差額 合計	-	-	△33,540	△33,540
一般財源充当額	-	-	33,540	33,540
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)
都市構造再編集中支援事業補助金	23,700千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成30年度		円	令和3年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民1人あたり198円のコストがかかっています。
	令和元年度		円	
	令和2年度	376,944人	198円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	2,629	2,629
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	2,629	2,629
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	16,053	16,053	固定負債	-	30,630	30,630
土地	-	-	-	地方債	-	6,900	6,900
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	-	23,730	23,730
建設仮勘定	-	16,053	16,053	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	-	33,259	33,259
土地	-	-	-	純資産	-	△17,206	△17,206
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
出資金	-	-	-	基金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
基金	-	-	-	その他債権	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	資産の部合計	-	16,053	16,053
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	16,053	16,053

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

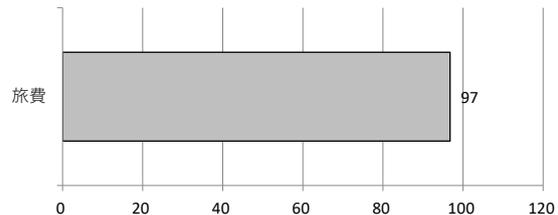
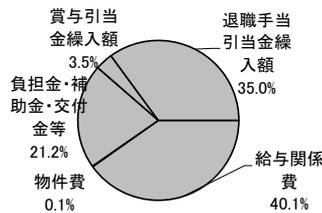
事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
4人	4人	日	日	58,585
給与関係費等	58,585千円	千円	千円	
内、時間外勤務手当	1,303千円			

貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由
建設仮勘定	上の川上面整備詳細設計 12,551千円 上の川上面整備測量及び調査 3,502千円

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	-	52.3	52.3

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業の初年度であり、主な資産計上は設計業務委託費用の計上となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

今後においても、国の補助金等を活用して一般財源の負担軽減に努めます。